

ひばりの図書館

2026.1



第147回 芥川賞・直木賞決定 の前に…教えて！

質問



芥川賞、直木賞ってなに？

「日本で一番有名な文学賞」といっても良いと思います。発表は夏と冬の1年に2回。編集者などの選考員がまず候補作をいくつか選び、その中からベテランの作家達による審議が行われ各賞が選ばれます(料亭に集まって相談するらしいです)前回は27年ぶりに両賞とも該当しなかったことが話題になりました。



質問



芥川賞と直木賞って何が違うの？

芥川賞は新人作家による純文学の中編や短編作品、直木賞は中堅・ベテラン作家によるエンターテインメント作品の長編や短編集がそれぞれ対象になります。



ちなみにざっくり言うと…



純文学とは作家の表現したいこと、その文章の美しさなどの芸術性が重視されたもの。読者をハラハラドキドキ楽しませるためというよりは、作家が興味のある分野について書かれたものを、私たち読み手がそれぞれ自由に解釈して読もうという感じですね。

芥川龍之介、夏目漱石、太宰治、最近では村上春樹、小川洋子、川上弘美 など

エンターテインメント作品(大衆文学)は 娯楽性、物語の完結性が求められ、読み手との共通認識を重視。「犯人があの人とは！」「どんでん返しがスゴイ！」など読み手が同じように感じられる推理小説やホラー、SF。

江戸川乱歩、東野圭吾、宮部みゆき、湊かなえ、知念実希人 など

ただし、決められた定義はないのではっきりとは分けられません。読みやすさで人気があるのはやはりエンタメ作品のようです。

質問



芥川賞と直木賞ってどっちがすごいの？

というわけで、2つの賞はそれぞれ作家のキャリア、作品のジャンルと長さが違うので「こっちの方が凄い！」というものではないのです

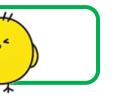


質問



作家は自分で賞に応募するの？

残念ながら賞が欲しいからと言って自分で応募は出来ません。



今回の受賞作

直木賞 カフェーの帰り道／島津輝

女性が職場でわちゃわちゃと集まって喋っている小説を書きたかった、という島津さんが物語の舞台にしたのは東京・上野の片隅にある「カフェー・西行」ちょっと寂れているけれど近所の人たちの憩いの場であるこの店には、4人の個性豊かな女給達が働いている。仲がいいわけでもないけれどギスギスしているわけでもなくまさに『職場の同僚』という距離感。

時代は大正から戦後にかけてだけれど、今の私たちと同様、日常を楽しんだり、それ悩みを抱えている。様々な事情をもつ4人のエピソードが描かれた短編連作集。



女給とは客にコーヒーや軽食を提供しながら会話を交わす職業。当時は女性が社会で仕事に就くのが難しい時代でした。着物に白いフリルのエプロン姿がトレードマーク

これまでのおもな直木賞受賞作



芥川賞

時の家／鳥山まこと

取り壊しが決まっている空き家に忍び込んで床や天井、壁やタイルなどをスケッチする青年がいる。彼のスケッチによってこの家の歴代の住人達(この家を建てた建築士、数学塾を開いた女性、コロナ禍に暮らしていた夫婦)の刻まれた記憶が呼び起こされていく物語。鳥山さんは宝塚市出身、現在建築士でもあります



芥川賞

叫び／畠山丑雄

大阪・吹田市出身の畠山さんが物語の舞台にしたのは隣接する茨木市。主人公は公務員ではあるものの荒れた生活を送っているダメな中年男・早野。ある時一人の男に出会い、彼を「先生」と呼び銅鐸作りと茨木の歴史を学び始める。茨木の隠された歴史を組みながら昭和と令和がリンクしていく物語。



POINT

茨木市は国内唯一の完全な形の銅鐸鋳型が発見された場所。そしてケシ栽培の歴史においても重要な役割を果たしていたそうです

これまでの主な芥川賞受賞作



新着図書

分類番号	書名	著者名	出版社
007	フェイクに惑わされないための情報を見抜く技術	瀬戸口誠	ナツメ社
007.13	騙されるAI「不可解なパートナー」人工知能との付き合い方	宮田晋次	講談社
007.13	言語学者、生成AIを危ぶむ 子どもにとって毒か薬か	川原繁人	朝日新聞出版
069	合本通いたくなるミュージアム		マガジンハウス
112	なぜ人は締め切りを守れないのか	難波優輝	堀之内出版
141.6	「さみしさ」に負けないための脳科学	中野信子	アスコム
159.7	図書館のゆるゆる人生質問箱 中高生の悩み、質問、雑談に、図書館職員がお応えします!	北海道斜里町立図書館	ワニブックス
210.47	秀長と秀吉 天下を取った豊臣兄弟と野望に生きた戦国武将たち	黒田基樹 監修	宝島社
289.1	太閤記解剖図鑑 豊臣秀吉の虚像と実像がマルわかり	柴裕之 監修	エクスナレッジ
289.1	大河ドラマ 豊臣兄弟！ 豊臣秀長とその時代	黒田基樹 監修	宝島社
290	地球の歩き方 戦国	地球の歩き方編集室編集	Gakken
304	文藝春秋オピニオン2026年の論点100		文藝春秋
326	なくなればいいのに。「罪って何?」を考える教養としての刑法学	穴沢大輔	自由国民社
331	100円のコーヒーが1000円で売れる理由、説明できますか？	橋本之克	アスコム
361.44	集団はなぜ残酷にまた慈悲深くなるのか 理不尽な服従と自発的人助けの心理学	釘原直樹	中央公論新社
361.5	世界はなぜ日本カルチャーに熱狂するのか NHKスペシャル「新ジャポニズム」：マンガ/日本食/デザイン/ボカラ	NHKスペシャル「新ジャポニズム」制作班	NHK出版
367.68	考察する若者たち (PHP新書 ;)	三宅香帆	PHP研究所
367.9	多様な性を生きる LGBTQ+として生きる先輩たちに人生のヒントを聞いてみた	松岡宗嗣	河出書房新社
369.27	みんなでつくる「読書バリアフリー」だれもが読める本のかたち	成松一郎	河出書房新社
376.87	17歳のときに知りたかった受験のこと、人生のこと。	びーやま	ダイヤモンド社
380.6	変わり者たちの秘密基地国立民族学博物館	樋永真佐夫 監修	CEメディアハウス
382.4555	生きることでなぜ、たましいの傷が癒されるのか 紛争地ルワンダに暮らす人々との民族誌	大竹裕子	白水社
383.83	〈食べ方〉の文化史 宮廷の作法が社会のマナーとなるまで	治部千波	教育評論社
450.91	ぶらっと地学散歩 近畿編	柴山元彦	創元社
459.21	日本のきれいな鉱石図鑑 鉱山を巡って楽しむ	五十公野裕也	創元社
468	〈正義〉の生物学トキやパンダを絶滅から守るべきか	山田俊弘	講談社
480	動物と仕事がしたい!	河出書房新社 編	河出書房新社
489.57	クマはなぜ人里に出てきたのか	永幡嘉之 文・写真	旬報社
490	食べるのが楽しくなる口のひみつ = The Magic of Mouth	今泉忠明 監修	創元社
490	嗅ぐのが楽しくなる鼻のひみつ = The Magic of Nose	今泉忠明 監修	創元社
490.4	AIに看取られる日 2035年の「医療と介護」	奥真也	朝日新聞出版
491.1	なぜ人の体はこんなにつくりが悪いのか 2足歩行で起こった人体の不合理に迫ってみよう	飯島治之	技術評論社
491.11	細胞を間近で見たらすごかった 奇跡のようなからだの仕組み	小倉加奈子	筑摩書房
491.371	読書する脳 (SB新書 ;)	毛内拡	SBクリエイティブ
491.374	見るのが楽しくなる目のひみつ = The Magic of Eyes	今泉忠明 監修	創元社
493.14	アレルギーの科学 なぜ起こるのかどうして増えているのか	森田英明 足立剛也 編・	講談社
494.8	スキンケアの科学 科学的に正しい皮膚の話	平山令明	講談社
498.36	「謎に眠い」を解きほぐす 眠気の悩みをあきらめないセルフケア	菅原洋平	オーム社
509.21	なぜ日本の手しごとが世界を変えるのか 経年美化の思想	塚原龍雲	集英社
596.65	和菓子のひみつ 楽しみ方・味わい方がわかる本：ニッポンの菓子文化超入門	「江戸菓」編集部	メイツユニバーサルコンテンツ
652.1	一冊でまるごとわかる「里山」入門	富田啓介	ベレ出版
674.6	作り方を作る	佐藤雅彦	左右社
702.1	日本美のこころ (小学館文庫 ;)	彬子女王	小学館
726.1	税金で買った本 17	ずいの 原作；糸山岡 漫画	講談社
726.101	ゲゲゲのゲーテ	水木しげる；水木プロダクション 編	双葉社

分類番号	書名	著者名	出版社
727	わたしは書体デザイナー みんなの「読める」をデザインしたい	高田裕美	Gakken
760.4	音楽と科学 心地よくひびく和音の秘密とは		ニュートンプレス
809.2	スピーチや会話の「えーっと」がなくなる本	高津和彦	フォレスト出版
911.16	百年の短歌 (新潮選書)	三枝昂之	新潮社
911.5	中高生のための詩のつくりかた 言葉で世界を紡ぐ40のヒント	久谷雉 監修	メイツユニバーサルコンテンツ
911.52	谷川俊太郎の日本語 (光文社新書 ;)	今野真二	光文社
913.6	富士山と、コーヒーと、しあわせの数式	まなべゆきこ	KADOKAWA
913.6	火喰鳥を、喰う	原浩	KADOKAWA
913.6	デモクラシーのいろは	森絵都	KADOKAWA
913.6	在る。SOGI支援医のカルテ	前川ほまれ	KADOKAWA
913.6	世界はきみが思うより	寺地はるな	PHP研究所
913.6	伝言猫がボールパークにいます	標野凪	PHP研究所
913.6	コメディ映画で泣くきみと	吉川トリコ	ポプラ社
913.6	苺飴には毒がある	砂村かいり	ポプラ社
913.6	ありか	瀬尾まいこ	水鈴社
913.6	陽ちゃんからのそよ風	山崎ナオコーラ	河出書房新社
913.6	本読むふたり = A couple reading books	菊池良	幻冬舎
913.6	アトミック・ブレイバー = Atomic Braver	吳勝浩	光文社
913.6	平場の月	朝倉かすみ	光文社
913.6	倒錯のロンド	折原一	講談社
913.6	I	道尾秀介	集英社
913.6	白雪姫と五枚の絵 (ぎんなり商店街の事件簿 ;)	井上真偽	小学館
913.6	ほどなく、お別れです [2]	長月天音	小学館
913.6	ちとせ	高野知宙	祥伝社
913.6	僕の青春をクイズに捧ぐ	水生櫻	新潮社
913.6	ザ・ロイヤルファミリー	早見和真	新潮社
913.6	コンビニ兄弟 5	町田そのこ	新潮社
913.6	変な地図	雨穴	双葉社
913.6	今を春べと	奥田亜希子	双葉社
913.6	暁星	湊かなえ	双葉社
913.6	火星の女王 = Queen of Mars	小川哲	早川書房
913.6	リデルハウスの子どもたち	佐原ひかり	東京創元社
913.6	アパートたまゆら	砂村かいり	東京創元社
913.6	無常商店街 = PROTEAN ROW	西島伝法	東京創元社
913.6	犯人と二人きり	高野和明	文藝春秋
913.6	推しの殺人	遠藤かたる	宝島社
913.68	5分後に意外な結末exセルリアンの空の裂け目から	桃戸ハル 編；usi 絵	Gakken
913.68	それはそれはよく燃えた	講談社 編；	講談社
913.68	猫で窒息したい人に贈る25のショートミステリー	『このミステリーがすごい!』編集部 編	宝島社
914.6	言葉のトランジット	グレゴリー・ケズナジャット	講談社
915.6	『五足の靴』をゆく 明治の修学旅行	森まゆみ	集英社
918.6	雪のしおり 冬のアンソロジー	さくらももこ 他	大和書房
933.7	シークレット・オブ・シークレット 上・下	ダン・ブラウン	KADOKAWA
934	百十三代目の司書見習い	スチュアート・ウィルソン	東京創元社
936	大英自然史博物館珍鳥標本盗難事件 なぜ美しい羽は狙われたのか	K.W.ジョンソン	化学同人